

週間市場レポート (2021年9月6日~9月10日)

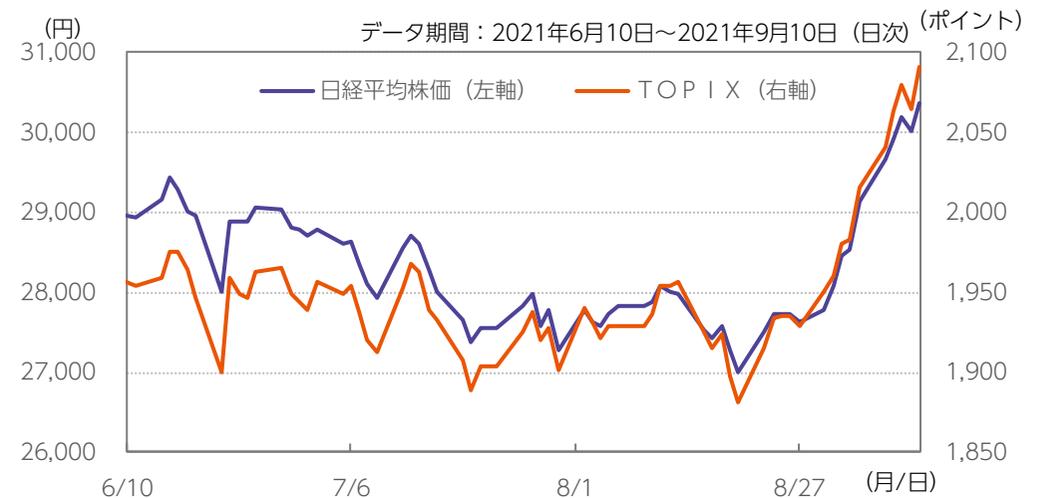
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/9/3	先週末 2021/9/10	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,128.11	30,381.84	4.30 ↗
TOPIX (東証株価指数)		2,015.45	2,091.65	3.78 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		35,369.09	34,607.72	▲2.15 ↘
S & P500種指数		4,535.43	4,458.58	▲1.69 ↘
ナスダック総合指数		15,363.52	15,115.49	▲1.61 ↘
ユーロ・ストックス50指数		4,201.98	4,170.35	▲0.75 ↘
S & P/ASX300指数		7,528.05	7,409.93	▲1.57 ↘
上海総合指数		3,581.73	3,703.11	3.39 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,023.29	1,024.17	0.09 ↗
東証REIT指数		2,144.50	2,126.08	▲0.86 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		926.45	888.35	▲4.11 ↘
ASX300 REIT 指数		1,669.30	1,632.10	▲2.23 ↘
グローバルREIT (除く日本)*		217.10	208.98	▲3.74 ↘
日本10年国債 (%)		0.042	0.048	0.006 ↗
米国10年国債 (%)		1.322	1.341	0.019 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.361	▲0.330	0.031 ↗
英国10年国債 (%)		0.717	0.758	0.041 ↗
ドル/円		109.71	109.94	0.21 ↗
ユーロ/円		130.31	129.89	▲0.32 ↘
英ポンド/円		152.11	152.18	0.05 ↗
豪ドル/円		81.74	80.84	▲1.11 ↘
フィラデルフィア半導体指数		3,430.89	3,416.66	▲0.41 ↘
WTI原油先物 (ドル)		69.29	69.72	0.62 ↗
CRB指数		220.11	220.43	0.14 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で大幅上昇しました。前週末に菅首相が退陣を表明し、次期政権の経済対策への期待から、週を通じて景気敏感株を中心に幅広い銘柄が買われました。また、足元の国内における新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあることも、買い安心感を強めました。前週から8日（水）まで8日連続で上昇し、5ヵ月ぶりに30,000円を回復すると利益確定もあり、小幅に下落する場面もありました。週末は、前日の米国株式市場でハイテク株が堅調に推移した流れを受け、半導体関連銘柄を中心に買われ上昇し、日経平均株価の終値は年初来高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。次期政権による経済対策への期待や、前週末に米長期金利が上昇した流れを受け、週初は上昇しました（価格は下落）。一方、国内金利がおよそ2ヵ月ぶりの水準まで上昇すると、値ごろ感から買いも入り（利回りは低下）、週間ではほぼ横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

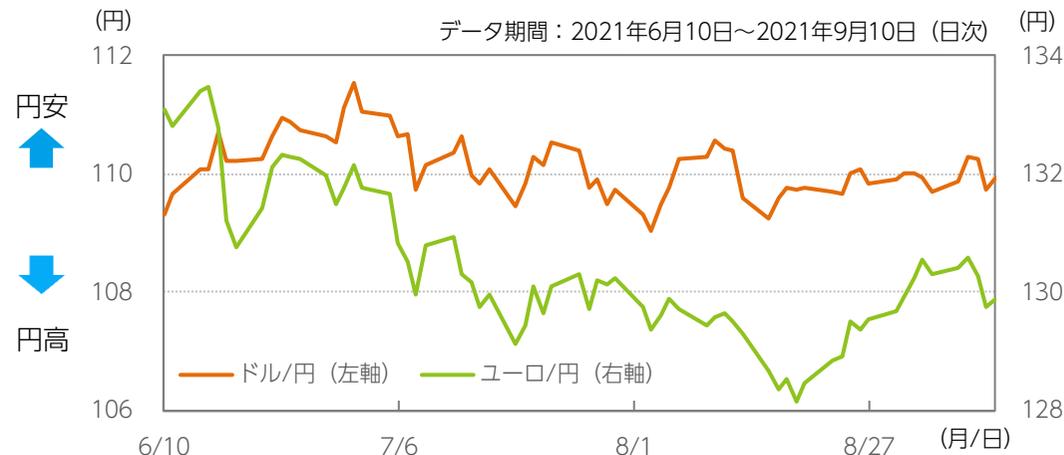
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。前週末に公表された8月の非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に下回ったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が発表した地区連銀経済報告（ページブック）が米景気の回復ペースの鈍化を示す内容であったことなどから、米景気への先行きに対する慎重な見方が広がり、週を通じて下落となりました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。日経平均株価の連日上昇で、低リスク通貨とされる円は売りが優勢となる一方、米景気の回復が鈍化するとの懸念から週中に米長期金利が低下すると、日米金利差の縮小を意識した円買い米ドル売りが進んだことから、週間ではほぼ横ばいとなりました。



5) 今週の見通しについて

先週の国内株式市場は、次期政権による新たな景気対策への期待などから上昇しました。一方、米国株式市場は、米景気の回復ペースの鈍化が意識され下落となりました。

国内では、今月末に自民党総裁選を控え、次期政権による新たな政策期待が高まっています。また、足元では国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあり、緊急事態宣言解除が期待される10月以降は、行動制限も段階的に緩和されるとの見通しが示されており、経済活動の再開への期待が高まっています。一方、米国は、新型コロナウイルスで感染力が強いとされるデルタ株による感染拡大から、雇用関連指標を中心とした軟調な経済指標が相次いで公表され、米景気回復の先行き不透明感が強まっています。

今週は8月の米消費者物価指数（CPI）や景況感関連の指標が公表されます。来週に米連邦公開市場委員会（FOMC）を控えており、これらの結果を踏まえたFRBの対応に注目が集まりそうです。今週の株式市場は、公表される経済指標を見極めながら、小動きとなりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>